

【2020年度/専門科目領域/専門基礎科目群/心理学系/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
心理学理論と心理的支援		必修(福) 選択(理.作)	2	1.2(福) 1.2.3.4(理.作)	後期
担当教員	研究室	電子メールID		オフィスアワー	
鈴木 真吾	B309	shsuzuki		木曜日 12:15~13:00	
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;医療・福祉の現場で専門家として人を支援するために必須となる、心理学の基礎知識を学び、かつ心理学に基づく対人援助の方法と実際について理解する。</p> <p>&lt;概要&gt;講義では心理学理論として、知覚・学習・社会・発達といった心理学の基本分野について幅広く講義する。次に、心理的支援として、臨床心理学の基礎を講義するとともに、心理療法各論を詳説する。この授業は Teams を用いた同時双方型授業で行う。</p>				
学習上の助言	社会福祉士・精神保健福祉士国家資格の受験科目に相当するので、一定の暗記学習を要する。				
教科書	各回、授業専用ノートを配布する。				
参考書	「やさしく学べる心理学—医療・福祉を学ぶ人のために」小島・福森・鈴木(著)北樹出版				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	医療・福祉の専門家として「人の心理学的理解」を学び、説明できる。		HSU (2) (3)、社・精 (2) 心 (2)		
②	医療・福祉の専門家として「人の成長・発達と心理」を学び、説明できる。		HSU (2) (3)、社・精 (2) 心 (2)		
③	医療・福祉の専門家として「日常生活と心の健康」を学び、説明できる。		HSU (2) (3)、社・精 (2) 心 (2)		
④	医療・福祉の専門家として「心理的支援の方法と実際」を学び、説明できる。		HSU (2) (3)、社・精 (2) 心 (2)		
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	人間関係の心理学を学ぶ。	講義	授業ノートを復習する。	2	
2	コミュニケーションの心理学を学ぶ。	講義	授業ノートを復習する。	2	
3	適応とストレスの心理学を学ぶ(1)[適応過程]。	講義	授業ノートを復習する。	2	
4	適応とストレスの心理学を学ぶ(2)[コーピング]。	講義	授業ノートを復習する。	2	
5	発達の心理学を学ぶ(1)[発達課題]。	講義	授業ノートを復習する。	2	
6	発達の心理学を学ぶ(2)[発達障害(症候群)]。	講義	授業ノートを復習する。	2	
7	感情の心理学を学ぶ。	講義	授業ノートを復習する。	2	
8	学習の心理学を学ぶ。	講義	授業ノートを復習する。	2	
9	記憶の心理学を学ぶ。	講義	授業ノートを復習する。	2	
10	臨床心理学を学ぶ(1)[精神分析的心理療法]。	講義	授業ノートを復習する。	2	
11	臨床心理学を学ぶ(2)[認知的アプローチ]。	講義	授業ノートを復習する。	2	
12	臨床心理学を学ぶ(3)[行動論的アプローチ]。	講義	授業ノートを復習する。	2	
13	臨床心理学を学ぶ(4)[来談者中心療法]。	講義	授業ノートを復習する。	2	
14	臨床心理学を学ぶ(5)[非言語的アプローチ]。	講義	授業ノートを復習する。	2	
15	臨床心理学を学ぶ(6)[家族システムアプローチ]。	講義	授業ノートを復習する。	5	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/心理学系/旧カリキュラム】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		70	0	0	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	60	0	0	0	0	60
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	5	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	10	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	15	15
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	定期試験では、心理学の専門用語を解答する記述設問、加えて授業中に説明した心理学知識を用いて現実の社会事象を読み解き、学生自らの考えをまじえた解説を求める論述問題を出題、評価を行う。				試験実施後に結果は Teams にて伝達する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回、授業中に Teams のビデオ会議にて授業で教授している心理学知識について理解や思考を問う質疑応答を行う。誠実かつ的確に授業内容を理解して自らの考えや感想を述べた場合に 1 点を加算する。授業中に 2 回の質疑応答を行うので、各回で 2 点を加算できる機会がある。全授業で計 30 点分を評価に加えることができる。				質疑応答の際に講評も行い、1 点の加算成否をその場で伝達する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>Microsoft Teams を用いた同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を奨励します。なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもあります。</p> <p>授業及び予復習の時間を除く 27 時間は、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験に出題される本科目分野の過去問題を精査する、参考書をはじめとした心理学の概論書を読書する等、自学自習に努めること。</p> <p>福祉心理学の必修科目であり、かつ社会福祉士・精神保健福祉士の受験要件に必要な科目である。</p> <p><b>教員の実務経験：</b> 本科目の担当講師は、臨床心理士及び公認心理師資格を有し、16 年の心理相談業務の経験があり、その専門性と経験を講義に生かし学生に教授する。</p>							